



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年11月13日

上場会社名 株式会社アイスコ 上場取引所 東
コード番号 7698 URL <https://www.iceco.co.jp/>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)相原 貴久
問合せ先責任者 (役職名)取締役CFO (氏名)永野 泰敬 (TEL) 045(811)1302
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 2023年12月14日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の業績 (2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	26,664	12.5	584	92.2	615	86.0	397	86.0
2023年3月期第2四半期	23,708	4.9	304	△38.7	331	△36.2	213	△41.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	206.14	201.94
2023年3月期第2四半期	111.93	109.36

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	18,879	3,548	18.8
2023年3月期	15,124	3,166	20.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 3,547百万円 2023年3月期 3,164百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	19.00	—	18.00	37.00
2024年3月期	—	19.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2024年3月期の業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,500	10.3	380	224.2	440	145.8	280	93.9	144.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	1,942,000株	2023年3月期	1,924,800株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	—株	2023年3月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	1,930,340株	2023年3月期2Q	1,911,733株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想の将来に関する記述は、業績に与える不確実な要因に係る仮定及び本日現在における入手可能な情報を前提としており、実際の業績等は様々な要因等で大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し落ち着きを見せるものの、世界的な原材料価格の高騰や円安による物価上昇など、先行きの見通せない不透明な状態が続いております。

当社が身を置く食品流通業及びスーパーマーケット業につきましては、原材料価格の高騰や、人件費、燃料費等のコスト上昇による価格転嫁の動きから、節約志向がより一層進む厳しい経営環境となっております。

このような情勢のなか、当社は食を通じた社会貢献を目標に、取引先との関係強化を図るとともに、効率的な物流網の構築や、地域密着型の店舗運営を推進、食料品の安定供給に努めてまいりました。

当第2四半期累計期間は燃料費等のコスト上昇分に対する価格転嫁が進んだことや、記録的な猛暑が続いたこと、ドラッグストアやディスカウントストアといった主要得意先との取引が堅調に推移したことにより、売上高26,664百万円(前年同四半期比12.5%増)、営業利益584百万円(前年同四半期比92.2%増)、経常利益615百万円(前年同四半期比86.0%増)、四半期純利益397百万円(前年同四半期比86.0%増)となりました。

各セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

a. フローズン事業

フローズン事業につきましては、燃料費、電気代等のコスト上昇分に対する価格転嫁が進んだことや、記録的な猛暑が続いたこと、主要得意先であるドラッグストアの新規出店等により堅調に推移いたしました。また、2023年6月に商品在庫を保有しない通過型センターを茨城県に開設し、北関東エリアの物流効率の改善に努めております。また、新規事業の冷凍食品専門店「FROZEN JOE'S」は、2023年9月に横浜市に1店舗新規出店しております。

以上の結果、フローズン事業の売上高は23,620百万円(前年同四半期比19.3%増)、セグメント利益は669百万円(前年同四半期比79.7%増)となりました。

b. スーパーマーケット事業

スーパーマーケット事業につきましては、前事業年度に3店舗閉店した結果、セグメント売上は前年同期比で減少しております。また、2023年9月に横浜市にスーパー生鮮館TAIGA藤が丘店を出店したことにより、開店費用が増加し、一時的に販売費及び一般管理費が増加しております。引き続きセグメント利益の黒字化に向け、管理コストの削減や、販売促進費の見直し等、抜本的な改革に取り組んでおります。

以上の結果、スーパーマーケット事業の売上高は3,043百万円(前年同四半期比22.0%減)、セグメント損失は85百万円(前年同四半期はセグメント損失68百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末の資産は、前事業年度末に比べて、3,755百万円増加し、18,879百万円となりました。これは主に、フローズン事業の売上の増加に伴い受取手形及び売掛金が2,201百万円、現金及び預金が945百万円増加したこと等によるものです。

(負債)

当第2四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べて、3,372百万円増加し、15,330百万円となりました。これは主に、フローズン事業の仕入の増加に伴い支払手形及び買掛金が2,716百万円、設備投資に係る未払金が560百万円増加したこと等によるものです。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べて、382百万円増加し、3,548百万円となりました。これは主に、利益剰余金が363百万円増加したこと等によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末の現金及び現金同等物の残高は2,912百万円と前事業年度末に比べ945百万円(48.0%)増加となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは1,222百万円の収入(前年同四半期は933百万円の収入)となりました。これは主に、売上債権の増加額が2,201百万円(前年同四半期は881百万円の増加)、棚卸資産の増加額が182百万円(前年同四半期は93百万円の増加)となったものの、仕入債務の増加額が2,716百万円(前年同四半期は1,609百万円の増加)、税引前四半期純利益が615百万円(前年同四半期比284百万円増加)となったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは55百万円の支出(前年同四半期は93百万円の支出)となりました。これは主に、差入保証金の差入による支出が28百万円(前年同四半期は2百万円)、有形固定資産の取得による支出が30百万円(前年同四半期は133百万円)となったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは221百万円の支出(前年同四半期は254百万円の支出)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出が201百万円(前年同四半期は233百万円)となったこと等によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期業績予想につきましては、最近の動向を踏まえまして2023年5月12日に公表しました2024年3月期の通期業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,000,147	2,945,202
受取手形及び売掛金	4,162,883	6,364,413
商品	615,588	798,399
未収入金	2,160,316	2,322,048
その他	21,586	21,219
貸倒引当金	△733	△1,098
流動資産合計	8,959,788	12,450,184
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,942,082	2,108,254
機械及び装置(純額)	123,905	121,385
車両運搬具(純額)	139,837	103,386
工具、器具及び備品(純額)	126,134	227,932
土地	2,522,221	2,522,221
その他(純額)	52,291	66,327
有形固定資産合計	4,906,472	5,149,508
無形固定資産		
ソフトウェア	8,789	5,447
その他	7,158	7,136
無形固定資産合計	15,947	12,583
投資その他の資産		
投資有価証券	39,129	39,931
繰延税金資産	476,599	476,358
保険積立金	65,950	70,303
差入保証金	642,764	666,656
その他	18,009	14,519
貸倒引当金	△408	△408
投資その他の資産合計	1,242,046	1,267,361
固定資産合計	6,164,466	6,429,453
資産合計	15,124,255	18,879,637

(単位:千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,999,569	9,716,220
短期借入金	700,000	700,000
1年内返済予定の長期借入金	398,209	375,509
未払金	325,525	885,736
未払費用	502,870	484,106
未払法人税等	50,850	252,642
未払消費税等	32,652	54,975
賞与引当金	138,335	138,640
その他	46,181	83,372
流動負債合計	9,194,195	12,691,204
固定負債		
長期借入金	1,821,034	1,642,463
長期未払金	155,100	155,100
退職給付引当金	670,969	682,160
資産除去債務	76,465	120,219
その他	40,406	39,567
固定負債合計	2,763,976	2,639,510
負債合計	11,958,171	15,330,714
純資産の部		
株主資本		
資本金	360,832	370,417
資本剰余金	285,832	295,417
利益剰余金	2,504,020	2,867,286
株主資本合計	3,150,684	3,533,121
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	14,025	14,586
評価・換算差額等合計	14,025	14,586
新株予約権	1,373	1,215
純資産合計	3,166,083	3,548,923
負債純資産合計	15,124,255	18,879,637

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	23,708,698	26,664,559
売上原価	19,549,116	22,096,411
売上総利益	4,159,581	4,568,148
販売費及び一般管理費	3,855,577	3,983,892
営業利益	304,004	584,255
営業外収益		
受取利息及び配当金	5,224	5,234
不動産賃貸料	24,834	25,999
雑収入	15,211	13,729
その他	1,333	1,089
営業外収益合計	46,603	46,052
営業外費用		
支払利息	8,536	7,166
不動産賃貸費用	7,588	7,031
その他	3,274	197
営業外費用合計	19,398	14,394
経常利益	331,209	615,914
税引前四半期純利益	331,209	615,914
法人税等	117,231	218,002
四半期純利益	213,978	397,911

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	331,209	615,914
減価償却費	160,729	144,028
受取利息及び受取配当金	△5,224	△5,234
支払利息	8,536	7,166
有形固定資産除却損	3,168	—
売上債権の増減額(△は増加)	△881,596	△2,201,529
棚卸資産の増減額(△は増加)	△93,409	△182,188
未収入金の増減額(△は増加)	△378,757	△162,242
仕入債務の増減額(△は減少)	1,609,303	2,716,651
未払金の増減額(△は減少)	108,852	250,332
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,874	305
退職給付引当金の増減額(△は減少)	31,139	11,190
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△49,028	—
その他	132,158	53,643
小計	981,955	1,248,036
利息及び配当金の受取額	4,714	4,723
利息の支払額	△8,536	△7,166
法人税等の支払額	△44,721	△23,224
営業活動によるキャッシュ・フロー	933,412	1,222,369
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△133,962	△30,134
有形固定資産の売却による収入	—	297
無形固定資産の取得による支出	△800	△120
定期預金の増減額(△は増加)	5,999	—
保険積立金の積立による支出	△3,586	△3,586
差入保証金の差入による支出	△2,071	△28,330
差入保証金の回収による収入	47,839	6,369
その他	△6,710	35
投資活動によるキャッシュ・フロー	△93,291	△55,469
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△233,200	△201,271
ストックオプションの行使による収入	13,276	14,071
配当金の支払額	△34,318	△34,646
財務活動によるキャッシュ・フロー	△254,242	△221,845
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	585,878	945,054
現金及び現金同等物の期首残高	2,287,444	1,967,556
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,873,323	2,912,610

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項ありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第2四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)3
	フローゼン事業	スーパー マーケット事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,807,719	3,900,978	23,708,698	—	23,708,698
セグメント間の内部 売上高又は振替高	109,682	—	109,682	△109,682	—
計	19,917,402	3,900,978	23,818,381	△109,682	23,708,698
セグメント利益又は損失 (△) (注)2	372,601	△68,596	304,004	—	304,004

(注)1. セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△109,682千円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)には適当な配分基準によって、各報告セグメントに配分された全社費用を含んでおります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II. 当第2四半期累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)3
	フローゼン事業	スーパー マーケット事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	23,620,930	3,043,629	26,664,559	—	26,664,559
セグメント間の内部 売上高又は振替高	117,873	—	117,873	△117,873	—
計	23,738,803	3,043,629	26,782,432	△117,873	26,664,559
セグメント利益又は損失 (△) (注)2	669,619	△85,363	584,255	—	584,255

(注)1. セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△117,873千円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)には適当な配分基準によって、各報告セグメントに配分された全社費用を含んでおります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。